（第二版）（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）　昭和十四年二月十八日（土曜日）　臺灣日日新報　第一万三千九百八十一號　A（一）

臺灣新民日報 夕刊
二月十七日
夕刊定期一部二錢
編輯兼發行人 佐々木 素
臺北市榮町二丁目卅二番地
發行所 臺北市榮町二丁目卅二番地 臺灣日日新報社
臺北市地町（電話一七五）基隆支局 臺中支局
臺中市寶町（電話一七）臺南支局 花蓮港支局
臺南市末廣町（電話長六〇）花蓮港街入船町
（ユタカビルディング内）大阪支局
大阪市西區阿波座一丁目 東京支局
（東京電話京橋一五一五）
（振替臺北一五番）

對ソ權益確保問題で 貴族院も意思表示か

衆議院と同樣に院議で 增稅案は愈よ けふ閣議で決定

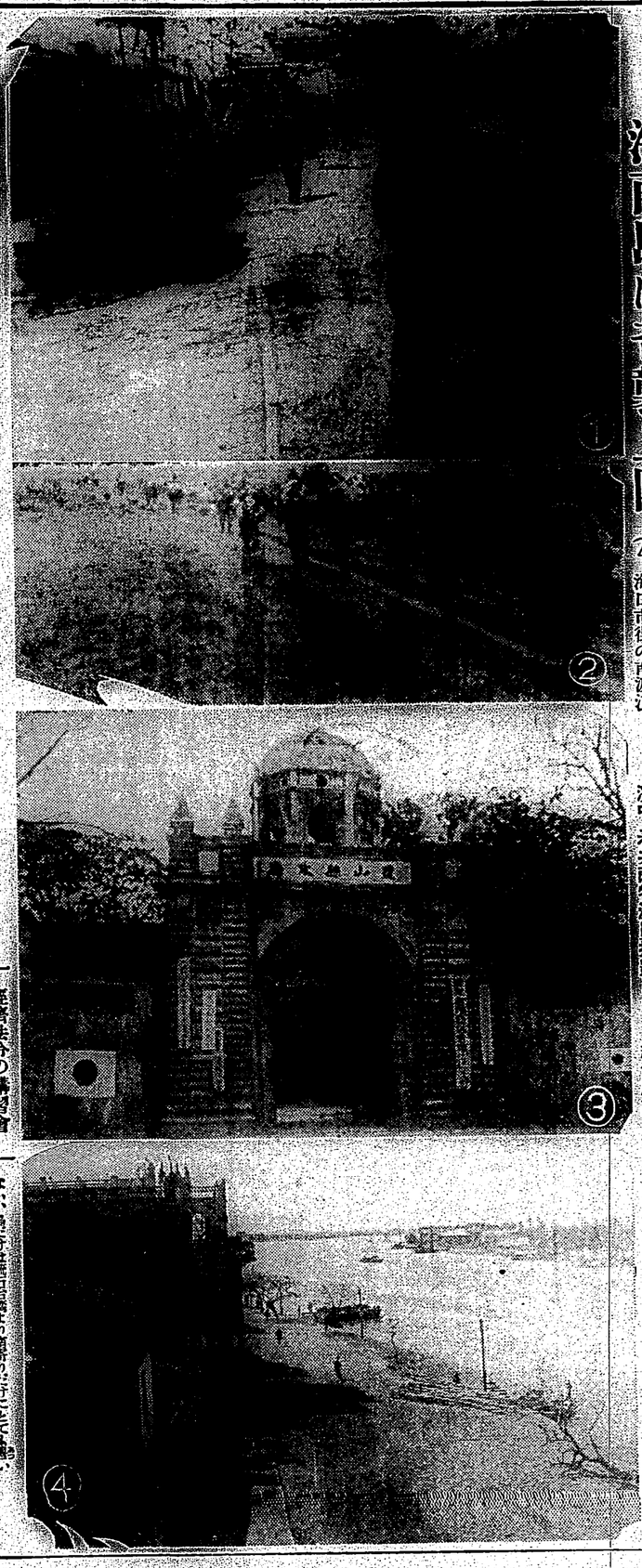
條文審理も終つて

【東京十七日發同盟】北洋漁業問題の解決を目指す日ソ交渉は二月中旬の妥結を目途として進捗しつゝあるが、我が漁業者の間には北洋漁業權の確保に關する政府の態度に對し多大の關心を寄せ、政府が權益の擁護に萬全の措置を講ずるやう要望してゐるが、これが解決に關しては、既に衆議院豫算委員會において、政府は北洋漁業權の確保に關する決議を行ひ、政府もこれを了承してゐるが、貴族院においても、二月十七日の本會議に上程される豫定の增稅案の審議に際し、政府に對し北洋漁業權の確保に關する決議を行ふべしとの意見が相當強く、政府當局に對し、北洋漁業權の確保に關する決意を表明し、貴族院各派においても、この點

海南島に奇襲上陸

(1)集結した戰車隊(2)堂々行進の我が軍(3)一番乘り〇〇部隊が占據した瓊山縣城
(4)海口市街の南渡江

濱中、永井兩特派員撮影　——總督府許可濟——



劍尖は夜陰にキラリ
勇士の面に覺悟の色
海南島奇襲のその狀景

【瓊山にて濱中本社特派員發】〇日〇〇に集結した〇〇艘の艦船團が南支那海の波を蹴して堂々と〇〇灣台に投錨したのは九日夜であつた。冷々とした海風が渡つて來る、各艦艇間の燈火管制が闇を縫つて瞬く、分、秒、刻、瞬刻するを待つ程に十日の午前一時ともなれば各艦の勇士は戰々として武裝を整へ、艦火管制の甲板上に置かんだ、〇〇艦に移乘開始、エンヂンはかかつた、〇〇艦の艦橋は勿

着劍の勇士

を滿載して艦を離れた矢の如く各艦の艦艇をまうしくらに海岸へ〳〵と白波を蹴つてひた走る、記者は〇〇部隊に從つて艦艇上陸への初參加である、海岸は見えない、フールスピード、前艦隊長の號令も發せられて勇士の面上にきつと二艘の艦艇の色が見える頃、前艦はさゝさゝと海岸の砂地にのり上げた。ドヤドヤとびおりる勇士、たちまち海岸一帶に散兵線が布かれて第十一團の黒い人影がとけほぐれた。折から深更の月は淡く崩れし波も音靜かに砂地は殊に柔い、銃命ヅイをなげすてて走る、銃劍が光つて走る、一艘の統率もせぬ後に艦艇上陸は劃期的な發見によつて成功した、ヘツと揚る上陸成功の緑光彈、時に午前二時五十分、これが海南島占領第一回の狀報であつた、尽いかな月の光も足の早い雲に

紀元節に入城式
海口縣政府前の廣場で

つた、思へばそれから四年越し、今皇軍の精鋭は全國民の輿望に答へて海南の寶庫海南島に上陸したのだ、やむにやまれぬ作戰の必要にせまられて海南島は今ぞ我が手中に歸したのだ、バイアス灣即上陸と並ぶべき新艦艇上陸は見事に功を奏して僅か半日を出でざるに敵の地は早くも日章旗のひらめくところとなり、萬歳の聲は全島を揺した、十日の上陸、そして翌日は十一日の紀元節を迎へたのである、百万の雪を羅列してもこの感激は盡されまい、十一日の紀元節は今年ほど感激にふるへる皇軍に從つて廣山から今吉田の街へと入つて來た

金の經濟から 物の經濟時代へ

物資統制は家庭から！

（上）
商工省國時物資調整局次長　竹内可吉

經濟が今日の戰爭に重大役割を演ずるという事は、直新しく言ふ必要はありませんが、戰爭には非常に澤山の物資が要るのです。しから今日の樣に戰場が擴大され、動員された兵隊さんの數も多いのですから、それだけ物資は澤さんの銃後以外に澤山のものを必要としてくるのです。從つて、國家總動員に限らず、經濟品被服類の莫大な需要は申すまでもないことです。

しかも、これ等必要な物資は長い間かかつてズル〳〵と生産されてゐたのでは間に合はないのです。短い間に澤山のもの生産されねばならないわけであります。それで、この際、我國では生産能力に馬力をかけねばならないのですが、生産するには物が要るのです。日本の現在の生産能力では物が澤山のものを必要としてゐるのですから、金も無制限にはないのです。しかし、金も無制限にはないのですから、日本で出來た品物が外國へ賣つて、それで必要なものを買ひ入れれば、それだけ日本の金貨が使はれずに濟むのですから、今日外國への輸出といふことが何よりも必要な事になつてゐるのです。品が外國に製品を輸出する。

即ち外國人に日本商品を買はせるには、日本の品物が安くなければならないのであります。それで、品物を安くするにはどうすればよいかと申しますと、凡ての價は需要と供給の關係から高低するものであつて、もし日本國內で買つて利益ある澤山あるとすれば、商人は外國へ品物を出さない事になります。內地では品物が高く賣れないとなれば、自然外國へ輸出するといふ事になります。

それで國內の人が、ぜひ買つてあます。

例へば鐵、アルミニューム等の原料が不足なので、これ等のものは外國から買はねばなりませんそれには金をもつて買ふのですから金が必要となつてくる次第です。しかし、金も無制限にはないのですから、日本で出來た品物が外國へ賣つて、それで必要なものを買入れれば、それだけ日本の金貨が使はれずに濟むのですから、今日外國への輸出といふことが何よりも必要な事になつてゐるのです。品が外國に製品を輸出する。

卽ち外國人に日本商品を買はせるには、日本の品物が安くなければならないのであります。それで、品物を安くするにはどうすればよいかと申しますと、凡ての價は需要と供給の關係から高低するものであつて、もし日本國內で買つて利益ある澤山あるとすれば、商人は外國へ品物を出さない事になります。內地では品物が高く賣れないとなれば、自然外國へ輸出するといふ事になります。

それで國內の人が、ぜひ買つてあます。

例へば鐵、アルミニューム等の原料が不足なので、これ等のものは外國から買はねばなりませんそれには金をもつて買ふのですから金が必要となつてくる次第です。しかし、金も無制限にはないのですから、日本で出來た品物が外國へ賣つて、それで必要なものを買入れれば、それだけ日本の金貨が使はれずに濟むのですから、今日外國への輸出といふことが何よりも必要な事になつてゐるのです。品が外國に製品を輸出する。

卽ち外國人に日本商品を買はせるには、日本の品物が安くなければならないのであります。それで、品物を安くするにはどうすればよいかと申しますと、凡ての價は需要と供給の關係から高低するものであつて、もし日本國內で買つて利益ある澤山あるとすれば、商人は外國へ品物を出さない事になります。內地では品物が高く賣れないとなれば、自然外國へ輸出するといふ事になります。

それで國內の人が、ぜひ買つてあます。

經濟が今日の戰爭に重大役割を演ずるという事は、直新しく言ふ必要はありませんが、戰爭には非常に澤山の物資が要るのです。しから今日の樣に戰場が擴大され、動員された兵隊さんの數も多いのですから、それだけ物資は澤さんの銃後以外に澤山のものを必要としてくるのです。兵隊、軍需に限らず、食糧品被服類の莫大な需要は申すまでもないことです。

しかも、これ等必要な物資は長い間かかつてズル〳〵と生産されてゐたのでは間に合はないのです。短い間に澤山のもの生産されねばならないわけであります。それで、この際、我國では生産能力に馬力をかけねばならないのですが、生産するには物が要るのです。日本の現在の生産能力では物が澤山のものを必要としてゐるのですから、金も無制限にはないのです

開花三世相

(104)

村松梢風作　中一彌畫

晩　篇（二）

根岸お行の松の近くに表は立派な冠木門で、裏手をめぐらした旗本の控へ屋敷か金持の隠宅とでも云ひさうな構へ。

下僕三人に下男を使つてゐる勢ひの良い、暗闇の部屋で、碁盤の上に座蒲團を敷いて碁を戦はせてゐるのはお酢であつた。側に下僕が一人附いていろ〳〵用をしてゐる。

碁敵のお近は、仕事をしながら碁手何か勝負つてゐる。

「ねえ御新造さま、彫義隊と官軍とは戦さをするんでせうか」

「さあ、どうかしら……」

「世間ぢや、しきりに戦さが始まると申して居りますが」

「それやや始まるかも知れないと」

「戦さをしたら、どつちが勝つでせうねえ」

「ニヤー……」

「姿なんかは、江戸で生れた人間ですから、人前で彫義隊に勝たせたいと思ひますけど、うつかり彫義隊を贔屓にすると、薩長とやらになるさうですから。それに御新造さまも、官軍とは戦さをするんでせうか」

「ねえ御新造さま、彫義隊と官軍とは戦さをするんでせうか」

「さあ、どうかしら……」

「世間ぢや、しきりに戦さが始まると申して居りますが」

「それやや始まるかも知れないと」

「戦さをしたら、どつちが勝つでせうねえ」

「ニヤー……」

モーリス シュバリエを語る

(1)

ジーネン・ソーフアー

モーリス・シュバリエは八年前偶然機会的なアメリカから自分が

モーリスと前後同時の舞台だつたニコポジヌ・ダアリー、彼のマネージヤーのトム・ハーン、ボイ・トリーと僕の五人であつた。

モーリスは彼の楽屋にちかづき、そこに非常に流行してゐたので僕たちは珈琲を求めて来ねばならなかつた。時に人はパンを探しに出ばたかつた、彼逃く僕たちが泊つた時差の門に買かつてゐる。

モーリスは彼でしてゐるが、だがそれは非常に至難であつた。僕は或る日いつた。

「モーリス、君の少年時代を懐かしてゐれ給へ」

×

僕は彼がどんなにして歌つから今日の富を得るに至つたか、如何に彼がパリで生れ、育つたか、どんなにミスタンゲットが彼を引立てて彼と共に如く歌唱し、彼女の踵り相手にしたか、大戦にドイツの捕虜となつた時、アルフオンソ王が救援して彼を自由の身にしたかを知つてゐる。

「僕は数年間聞いたことはありませんでした」とモーリスはいつた「だが若しあなたが本当に歴まれるなら……」

休戦の日であつた、僕たちはボアスを通り抜け、アーク・ド・トリオンヒを過ぎ、シヤンゼリゼーを下つた、シヤンゼリゼーのところでは彼国人の一隊が無名戦士の墓に詣でてゐた。

佐藤国語を流れる電話やハガキで頻々と激望されるので、此事を聞いた本人が驚き感激して、では今一度やりませう、そして私の十八番でと二人行つても絶好的組織を編してゐる川口松太郎氏原作の「鶴外五四三號」を後援に総援しますと申出たので諸よりも先づ師走が大喜び、今度の興業

『米若の佐渡情話』

愈よ今明二日限り

また大当りといふわけであらう米若一行は四日目限り物

間重次郎　醤々木若郎
秋山福　醤々木若栄
民謡の女力風　醤々木春美若
御国角之進　醤家　川柳
吉原百人斬　早川　三平
日本盛次　木村小重浦
赤城の夜風　笠井　好若
鼠小僧　寒家　小燕
熱演二席　喜々木米若

佐渡情話（前後）
歌外五四五十號（後後）

今週の映画

新興時代劇
怪猫赤壁大明神

十七日から芳乃館

▲新人森一生のよき演出をみるべき新興の時代劇で、主演は市川男女之助、鈴木澄子、葛木香一、原聖四郎、國友和歌子たち

▲（御報）日本橋本町一丁目の雨香堂伊國屋では主人伊兵衛の歿後後後後のお悔が先妻の千伊太郎に代つて来配を御つてゐたが、伊太郎が嫁を迎へた後の自分の立場の惨めさを考へると不快に堪られ、途に番頭金蔵を語給して重成蔵の嘘は夫婦になると云ふ約束の下にその兄弟分の尊次を手許に住み込ませ、紀伊國屋横領を企てた、先づ伊太郎を放逐者に仕立て上げる為に尊次の妹おみちの容色を以て落し込み、亡夫の遺言で後妻初の奥入りの後妻に家をあけさせたがお初はおちつと辛抱して夫伊太郎の心を引き戻さうと努めた、茶に相違の悪人達は却つて伊太郎の後見人伯父の善七や一番番頭佐次郎に怪しまれるに及び善七は店へ出入生れ、名声を得ようと歌つたの都宮へ歌舞にぶつつかりに帰つて来た。

これまでパリとロンドンとだけで知られ、しかもホールとレヴユーで知られてゐただけの彼は、パリッドへ行つた、トーキイのせゐで何千、何万といふ女どもが彼を崇拝したのでサン・フランシスコの三人さりであつた、然し二人は何時も僕次に奇遇されてゐた、女の身では思ふやうに主人達を守護することも出来ず、小さい胸を痛めてゐる時、お初の後を慕つて宮家から来た個猫の玉が主人の大事を知つてここに様々の怪異を示し、次に悪人達をその戯れ爪にかけてゆくのであつたが、遂に弥太五一郎の槍先にかかつて土蔵の自壁を真紅に染めてその短い生涯を閉ぢお伊國屋には再び平和が甦つた。

▲開時上映は猫花園、整なる方総（宮城県下、大井正夫、植村建一郎主演）でゐる

カナ文字ニュース

△十五日　ワガ　カイグンカウクウタイハ　中シナノ　南陽ヲ　クウシフシテ、テキノ　タテモノニ　バクダンノ　アメヲ　フラセマシタ。シナグンハ　センサウヲ　シテモ　マケテ　バカリ　キマスノデ、コノゴロ　ハ　イクサヲ　ツヅケヨウト　イフ　キモチガ　ダンダン　ウスライデ　キテキル　サウデス。

△海南島デ　ワルイ　シナグンヲ　セイバツ　シテキル　ワガグンノ　ヘイタイサンハ、カヒ　キマシタ。十五ニチノ　ユウガタカラ　タイホクシウノ　ララ山ニ、ユキガ　チラチラ　フリダシテ、ヤマニ　スンデキル　ヒトタチハ　タイヘン　サムガツテ　キマスデモ　ヘイタンサンタチハ　クルシイトモ　イハナイデ、ダマツテ　ミクニノ　タメニ　ハタライテキマス。

△オクビヤウナ　シナノ　ヒカウキハ、ソラヲトンデモ　ワガグンノ　ヒカウキニ　スグウチオトサレテ　シマヒマス。ソレデシヤウカイセキハ　ヨソノ　クニノ　シンブンニ『タクサン　オカネヲ　ダスカラ、シナグンノ　ヒカウシニ　ナルモノハ　キナイカ』トクワウコク　シタサウデス。

△二二ニチ　マヘカラ　ダンダン　サムクナツテ　キマシタ。十五ニチノ　ユウガタカラ　タイホクシウノ　ララ山ニ、ユキガ　チラチラ　フリダシテ、ヤマニ　スンデキル　ヒトタチハ　タイヘン　サムガツテ　キマスデモ　ヘイタンサンタチハ　クルシイトモ　イハナイデ、ダマツテ　ミクニノ　タメニ　ハタライテキマス。

海外小話

御姉人用

米国ニューヨークカット州アオーターベーリで昨年のクリスマスに実際あつた話、ジョン・オクトー夫人クリスマス・プレゼントに夫から「夫を喜ばす注二千法」なる本を贈られて、流石は婦人第一の米国

メガホン塔

▲井村雪江氏逝去（前号公衆相談所）▲生後一ヶ月白黒マダラの仔犬貰ひ手（前号）▲榕樹園下の方が、他人の庭に溝をかんだ訳だと投げ込んで下さい（公衆道徳）▲窓から小便お断りします（通行人）▲便所を設ける事を取締られたしフアロス安田）▲課長さん非常時です、のんだくれは退園（ペまへんか（三下）

名士と趣味

人の趣味や道楽には案外なものがあり、時ちである人にこんな趣味かと驚かされることは間々あるものだ。

将棋の花田八段が玩具の猫の蒐集が大の趣味だと云ふが、彼花田氏の猫の蒐集とそれにまつはる話は非常に面白いものがあつて、将棋に敗けてクサクサしてゐる時猫を膝の上にのせてゐると実に気分が晴々して来るといふ。猫には一種の放心の良さがあるのである。講談倶楽部二月號巻頭の随筆「カメラ前問」を見よ

商況（十七日）

蓬萊正米市場

前場

▲一期蓬萊

先　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

中　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

先　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

中　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

先　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

中　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

先　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

中　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

先　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲一期蓬萊

中　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲二期丸陽

寄　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車
引　三三・〇〇　三三・〇〇　三三・〇〇　三車

▲出米総合計三車

蓬萊在庫米

二期蓬萊米　十七日朝現在　二六〇〇俵
二期丸陽米　二六〇〇俵
二期蓬萊白米　一、三〇〇俵
二期丸陽白米　九一、九〇〇俵
到着米五〇車

大阪期米前場

節　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車

大阪期米前場

節　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車

神戸期米前場

寄　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車
引　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車

東京期米前場

寄　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車
引　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車

東京期米前場

寄　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車
引　三六・〇　三六・〇　三六・〇　三車

東京銀行賃株

寄　不申　不申　不申　不申
引　六〇　六〇　六〇　六〇

▲一期丸陽

寄　六〇　六〇　六〇　六〇
引　六〇　六〇　六〇　六〇

東京短期前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

東京國債前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

東京銘柄清算前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

東京長期前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

大阪短期前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

大阪長期前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

大阪砂糖現物

二瓩入（OBB）　一〇円八〇銭　四〇　四〇
分蜜（M3）　一〇円五〇銭　四〇　四〇
帯糖蜜　一〇円四〇銭　四〇　四〇
同（総）　一〇円四〇銭　四〇　四〇
同（日）　一〇円五〇銭　四〇　四〇

大阪砂糖清算前場

寄　二〇　二〇　二〇　二〇
引　二〇　二〇　二〇　二〇

神戸豆粕前場

寄　二月限　五九・八〇　五九・八〇　五九・八〇　五車
引　二月限　五九・七〇　五九・七〇　五九・七〇　五車

大阪綿糸前場

寄　二月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵
引　二月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵

大阪綿花前場

寄　二月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵
引　二月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵

神戸爲替

寄　四月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵
引　四月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵

横濱生絲前場

寄　五月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵
引　五月限　九二・〇〇　九二・〇〇　九二・〇〇　一〇俵

株式社債

対米　二七弗一六分五　一〇〇片
対英期近　二七弗四分五　一〇〇片

金建値

対米期近（建）　二七弗一六分五　一〇〇片
（賣）　二七弗一六分五　一〇〇片
対英期近（建）　二七弗四分一　一〇〇片
（賣）　二七弗四分一　一〇〇片

金塊

公定市価　七八〇円六〇銭　一〇匁

養命酒は眞に實いよい

なぜこんなによい

貴重薬草配伍

養命酒は主として信州の高山地帯で採れる貴重なる高山薬草をえらび、信州鹽澤家三百年の家傳秘法に據り、酒と倶に醸すのでありますが、薬草の選擇、採取の時季は、他の及ばざる獨特であります

家傳秘法合醸

選ばれたる薬草は鹽澤家傳の秘法で合醸されますが、この合醸に至大の價値が存するのでありまして、漬藥の煎じたり振出したりする、方法と異なり、酒のため貴重藥草の貴重精分はすつかり溶け込み活性『有効』て永く保たれます。

軀に循が早い

肉眼では分子の見えないまで細かく溶けてゐる精分だから、たとへ胃腸の吸收力とぼしき人の體内にも、自然に吸收され易く、精分は迅く全身に循る事となるので、よわい身體も干天に慈雨を得たやうに活氣づいて丈夫になります。

御注意

近頃養命酒の名聲を知つて、類似品が世間に出て居る様ですが、養命酒は信州鹽澤家傳の秘法で醸造する本家本元の品であります。

發賣元　株式會社　武田長兵衛商店
大阪市東區瓦町三丁目

製造元　養命酒本舗大龍館
信州上伊那郡南向村大草

發賣元　帝藝總督府專賣局
信州上伊那郡南向村大草

販賣所　養命酒本舗出張所
東京市芝區上通四丁目

出張所　養命酒本舗出張所
電話　芝公二八四七番
振替東京八五五番

女性ホルモン

月經不順

月經過多、月經寡少其他二〇—三〇歳前後の肉体的並に精神的變更期障害にオバホルモンの應用は卵巢機能の失調を恢復敏速し、女性特有の機能を發現せしめて月經を調整し、心身を爽快ならしむ。

更年期障碍

即ち顔熱、不眠症、憂鬱症、疲勞倦怠、腰痛肩凝り等にオバホルモンを用ふれば、缺落せる卵胞ホルモンを補給して、衰退せる諸臓器を賦活し、新陳代謝を亢めて疲勞倦怠感、食慾不振、肥滿を減なくし不自然なる肥滿を輕減し、血行をよくして老衰現象を豫防す。

乳汁分泌不足

オバホルモンは乳汁分泌不足、衰退せる乳腺に作用して乳汁の分泌量を増大せしむ。

【用量】一回一—二錠宛一日三回服用す。

【價格】（五百錠）五〇錠（一圓）一〇〇錠（一圓八〇錢）二〇〇錠（三圓）五〇〇錠（七圓）一〇〇〇錠（一三圓）

（百錠）一〇錠（二〇錢）五〇錠（一圓）一〇〇錠（一圓八〇錢）二〇〇錠（三圓）五〇〇錠（七圓）一〇〇〇錠（一三圓）

（十錠）一錠（二錢）五錠（一〇錢）一〇錠（一八錢）五〇錠（八〇錢）一〇〇錠（一圓五〇錢）

郵便小包は一回に五百錠迄

発賣元　株式會社　武田長兵衛商店
大阪市東區瓦町三丁目

製造元　武田藥品工業株式會社
大阪市東區道修町二丁目

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
東京市日本橋區通三丁目

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
名古屋市中區廣小路通二丁目

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
京都市下京區四條通寺町東入

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
神戸市生田區下山手通二丁目

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
福岡市天神町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
廣島市堺町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
札幌市南一條西三丁目

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
仙臺市國分町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
新潟市東堀通七番町

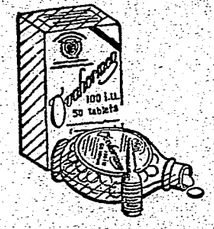
販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
金澤市廣坂通

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
高松市丸龜町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
熊本市坪井町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
鹿兒島市山之口町

販賣所　武田藥品工業株式會社　出張所
那覇市西



武田發賣品

臺灣日日新報　第一万三千九百八十一號　A（一）
昭和十一年九月九日（三種郵便物認可）　昭和十四年二月十八日（土曜日）

臺灣日日新報

日本夕刊共十二頁
臺北佐々人行發兼編輯
臺北市表町一丁目四番地
社會新日日新報臺北支局
所行發
電話代表五八〇一番　臺北二番
振替口座臺灣銀行一〇番
本社編輯局直通　臺北二四〇三番
社會部直通　臺北二四〇四番
學藝部直通　臺北二四〇五番
臺北二二〇五番
定價　本島一部六錢・一ケ月前金壹圓五十錢
月金八圓五十錢・三ケ月金四圓五十錢・六ヶ月金八圓
（日本國內及滿洲國各郵便局取扱料不要）
廣告料　特別一行十五錢・同二行二十五錢・同五行四十錢
通信欄一行十五錢・同二十五錢・同五行四十錢

社說

歐洲の人民戰線は潰滅した　極東も亦積極的防共が肝要

一

西班牙の戰亂はフランコ軍が次第に優勢裡を收めて西國人民戰線側は全く潰滅の運命にあり、一方佛國に於ても人民戰線は既に其の影を潛めて茲に歐洲の人民戰線は其の影響傷が數年にして全く沒落した。佛國に於て人民戰線が正式に結成されたのは一九三五年七月二六年には人民戰線內閣が生れ西國はやゝ稍落ちんずるが今にして見れば何れも線香花火的運命に終つたのである。人民戰線の戰術はかの一九三五年のコミンテルン第七回大會で採用され共產主義者は社會民主主義者を含めてアンジョア自由主義者をも包含してアンチファシズム對抗の名の下に大共同戰線を布き共產勢力の擴大強化を企圖したのであつたが最近の趨勢は逆に防共陣線強化されるに至つたのであつて、人民戰線の歐洲に於ける沒落は必然的平和愛好自由主義の假面を被つた共產勢力の記錄すべき敗退に外ならない。

二

人民戰線のスローガンなるものは"パンと自由と平和"の標語にあつた。然しながらそはコミンテルンの戰術に基く宣傳語であり、今や西國でも佛國でも民衆は人戰爭の假面に全く幻滅を感ずるに至つたのである。實際に於て先づパン問題の人民政府も西國のそれも何等見るべき政策を實現し得なかつた事に原因する無秩序と混亂とを招致し又所謂"平和"も現實の猛烈な軍備の國際情勢に逆行する結果、無策の國際情勢に過ぎなかつたのである。佛國に於ても西國に於ても共產系の戰術に踊らされた人民戰線政府なるものは無力無能、內は國內を混亂、無秩序に陷れ外は國民をして國家の

衆議院を通過せる 昭和十四年度豫算案 その綱要解說 (四)

第四款雜收入

この款の十四年度豫定額は四八、九万七百五十二円で前年より十二万五千二百円の増加をみてゐる。今各項に渉る十四年度豫定額左の如し

一、官業及官有財産收入	三、六二一、四一〇円
前年度に比し一四、七三七円の減	
二、公債及資本利子收入	六、八二八、四一〇円
前年より五、五三八円の増	
三、雜收入	一八七、二三一円
前年より一五、七四二円の增であるが、その内訳は次官如左	
雜損失補償金	一四三、五七七円
雜損失補償金	九四、九九八円
雜收入	二〇、四五二円

第八回事變國債 臺灣割當は百萬圓

二十一日から全國一齊賣出し

支那事變第八回國債の臺灣に來る二十一日から三月四日迄の十二日間であるが、今回の臺灣分割當は百万円で前回の八十九万円より十万六千円增である。從つて一般は一万五千七百円增である。

各州廳の割當は

臺北	三〇、五〇〇円
新竹	九三、五〇〇円
臺中	一九、七〇〇円
臺南	二〇、一〇〇円
高雄	九、五〇〇円
花蓮港	一八、一〇〇円
臺東	五、四〇〇円
澎湖	六、一〇〇円

で前回に比すると台北は三万四百減であるが、これは前回台北の割當が多く、殆んどの應募があるので今回特に減じて他に振り當てたので、增加は新竹の二万五千円、台中の三万円、台南の二万一千円、高雄の四万八千円、花蓮港の一万四千円で減少は台北の他に臺東の一千円影前の二千一百円等である。なほ一應參考の爲め前回の應募額は

臺北	八六、〇〇〇円
基隆	三〇、七〇〇円
新竹	一四、二五〇
臺中	一六、八〇〇
彰化	二二、二五〇
南投	一五、五〇〇
嘉義	三六、七五〇
高雄	三一、〇五〇
屏東	三一、五五〇
花蓮港	四、五五〇
臺東	四、五五〇
馬公	八、四五〇
宜蘭	一〇、一五〇

で台北、宜蘭、花蓮港、臺東は減少他は何れも增加である

創立を急ぐ 東臺灣電力

泊交通局總長近く上京

東臺灣電力興業會社の設立については、はなはだ相當の期間を要する模樣である。ために總督部佐々木電氣課長は先般上京したが泊交通局總長も近く上京、各關係と折衝の上會社の創立を急ぐこととなつた

日支茶業調整には 生産販賣を協定せよ

臺灣茶の既得市場は確保を要す

日支茶業調整懇談會に臨むに當り臺灣茶の既得市場は確保を要すとの意見を纏めるため臺灣茶業協會では七月十日午前十時より臺北市內の同會事務所に於て臨時總會を開催、同席上鈴木專務理事より日支茶業調整懇談會の經過報告があつた後、左の如き意見を交換した

一、臺灣茶の既得市場は確保を要すること

二、臺灣茶の既得市場は確保を要するが、今回の日支茶業調整懇談會に於ては臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずること

三、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

四、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

五、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

六、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

七、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

八、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

九、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

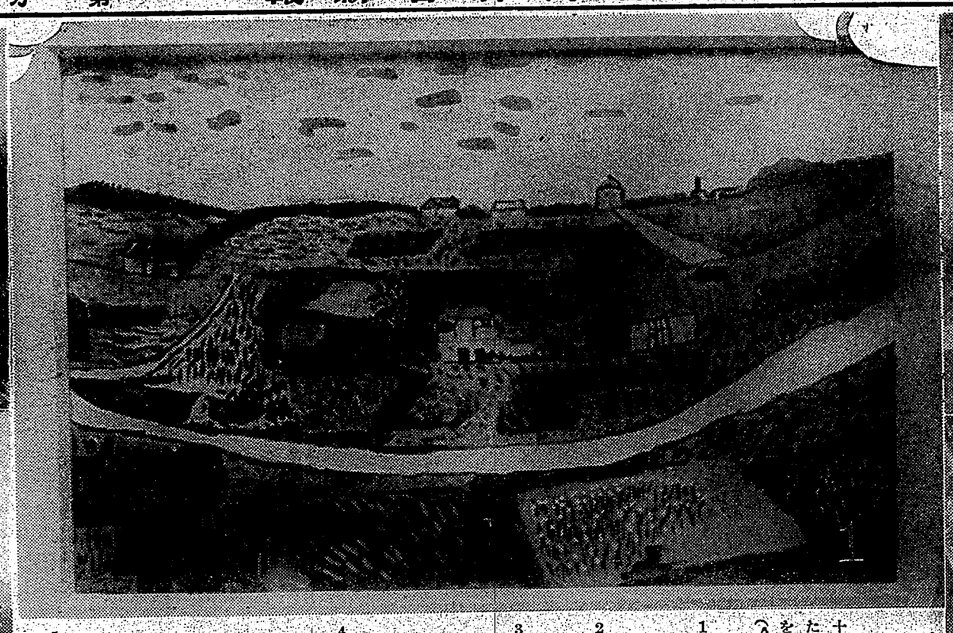
十、臺灣茶の既得市場は確保されるものと信ずるが、若し確保されざる場合は臺灣茶業協會は脫退すること

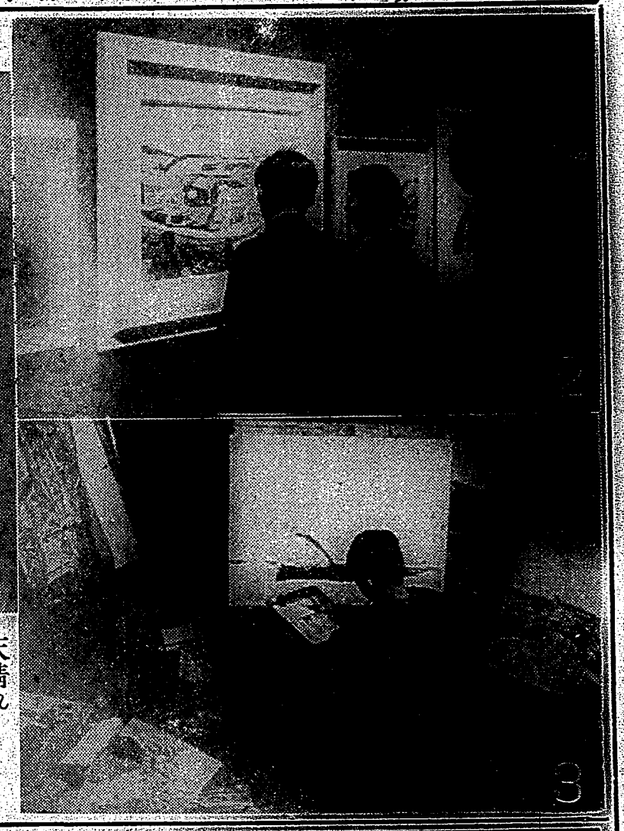
青果類强調

【新竹十七日發本社特電】阪神青果市場の入荷減少傾向について逐次其九時、神戸にて甲向六四九十七錢と七円を中心に小荏來して居る、靑果は當部から十二月十二錢と發表なく本月中旬七十一錢、翌十六日と何れも强調した

臺北建組總會 役員三名改選

臺北建築組合總會は十七日午前十時三十分より大和町の同組合事務所に於て開會、利用組合員出席者百名、委任出席者二百名、合計三百名にて定足數を超過し成立、先づ組合長川崎卯三郎氏の挨拶あり、次に組合長並に顧問會頭の任期滿了に付改選の件に入り、組合長處分其他に關する件を附議、組合長川崎卯三郎氏を再選、





天晴れ『坊や畫家』

十二日まで上野府美術館で開かれた白日會第十六回洋畫展覽會で、人氣を呼んだ天才少年畫家岡澤貞雄君(へ)の天晴れ坊や畫家振り寫眞は

1　堂々大人の畫家に伍して臆面なき筆さばきをバスした「水浴タンクのある風景」目白町附近

2　水彩畫四十號の大作に感歎の目を瞠る觀衆

3　お父さん岡澤常夫氏は東京練馬署の司法主任ですが、やはり少年時代から畫が好きで、今では立派なアトリエを持つて居ります。お父さんのアトリエで筆をとる貞雄君

4　貞雄君がまだ小さい頃お父さんは貞雄君のお守りを受持つて愛犬土佐犬ルー公に車を曳かせ、ご自分の貞雄君を乘せて遠足に出かけました。その頃から貞雄君の小さな胸に藝術的感念が植えつけられたのでせうルー公はもう何も貞雄君を乘せ、坊ちやんが絵に夢中になる時は、いつまでもおとなしく伏に待つてゐます

5　さあ、お家に歸らうと、車を曳くルー公

谷崎潤一郎氏畢生の大作

源氏物語

新譯

文學博士　幸田露伴

源氏物語の我邦の文學上に於ける地位や、又其の聲望等を、今更に言ふことは不要の事である。たゞしそれだけに一般士女に認識されては居りながら、多くの人々に必ずしも親しくなつて居るとは言へないのが、殘念ながら實際事實である。それは何でも無い、物語が出來たのが意外に早い時期にあつたゝめ、時間の距離が大きくなつて、たとへば秀美な山を遠距離から望むやうに、近々と親ることが不可能だといふ事情に本づくのである。時間の距離をさへ除くことが出來、又は之を少くすることが出來さへすれば、近近と又判然と、又實に親しく之を觀、之を味はひ、之を鑑賞することが出來るのである。そこで、此の時間の距離によつて生ずる不利を取除くことは今日まで度々試みられたが、然し餘り好い結果は得られなかつたのである。それは蓋し努力が不足であつたゝめもあらう。古來の注釋書や、筋書的の著述の多くは、そのために、譬へば餘り上等で無い望遠鏡をもつて秀美な山を望見するやうな、物足らなさを人に與へたまでゝあつた。然るに今此の新譯は谷崎氏の才能と努力と、又これを世間に呈與するまでの經營と努力と、社會が然樣いふものを得んとする實際事情の支援とによつて、遂に世に現はれ得たのであり、そして殆んど吾が足をもつて其山路を踏み、吾が眼を以て其雲烟變化の狀を瞭、其峯巒溪谷の體を視、草木禽蟲に親しみ、近々と其眞趣を會得し、十分に體驗内證し得るやうになつたといふことは、何といふ快事であらう。これは恰もケーブルカーによつて容易に登山し得る便宜が與へられたやうなもので、太平の餘澤、現代の幸福である、墨鷄玉扁又何を羨まんといふところである。若夫れ、委細にわたつての批判の如きは、これを後日に期して、今は大體に於て此擧の成就を悦んで已まぬのが、予の寸懐である。

谷崎さんと源氏

安田靫彦

谷崎さんが、日本の持つ文學作品のうちで、一番讀くまた一番好きなのは源氏物語だ、と云はれたのを聞いたのは大正の末頃だつた。氏が新譯を總裁してから三、四年目で、自ら起筆を企つた新文學の最先頭に立つて居られた谷崎さんからこの古典の世界的價値を敎へられのは私によつて深い感銘だつた。今から廿七、八年前である。

源氏の讀者として谷崎さんを擧いて他に人なしとは今日私ならず云ふべきでない。たゞ源氏の門をひらくには女流の筆だけでは開かない。谷崎さんは一流のふる筆にも源氏の切ひを異さわける人である。今や九百數十年間國民大衆の前に閉ざられたまゝであつた光源氏の大門は、文學の鍵、藝術の鍵、萬能の鍵を持つた谷崎さんの手によつて開かれたのである。吾々はこゝに謹めてこの大國學者が成に入つて心ゆくまで遊歩することができるのは欣ばしい限りである。

二つの宿圣

侯爵徳川義親

私は源氏物語に就て二つの仕事をしてゐる。第一は徳能源氏繪巻を完全に保護する爲に、醫者、美術愛好者等の反對を押し切つて切斷したことである。第二は此の徳能源氏繪の複製で、これは新發見であつたから七ケ年の歳月を費した第三は和本源氏物語の發見と複製出版である。

これ程源氏物語には深い關係があるが、それは物語の内容に就てではなかつた。正直のところ讀んでは見たものゝ、讀破とは全く持て餘した。況に讀んでは見たものゝ、讀破とは全く持て餘した。況に讀んでは見たものゝ、讀破とは全く持て餘した。況に

南風の歌 (34)

(禁上演)

加藤武雄作
富田千秋畫

怖ろしき秘密 (四)

居のうちに、もう門の閂まで來てゐた。

敏介は立ちどまつて、

「もう少し歩きませう？」

かへりみてさう云ふと、そのまゝ〳〵と歩いて行く。

幸子も、黙ごほをねぢで引かれるやうに、あとについて、門閂を差潟りに歩いて行つた。

「僕ね、こんな所を云ひ出したんで、あんたはびつくりなすつたでせう。いや僕は飛んでも無い事を云つて了つたやうな氣もします。が、云ひ出した以上、斯直に云つてしまひたい。僕は、あなたを愛してゐます。といふよりも、あなたといふ人について、愛といふものを知つたのです」

幸子の心臓は、先刻から太鼓のやうに鳴つて居る。

「僕は科学者です。冷靜な理智の世界に生きてゐる人間です。戀愛といふやうな感情の動きは絶つ覺悟で來た方です。從つて結婚なども、相手は何人でもいい、極端もまた自からうとそれほどに思つてゐたのです。併し、あなたといふ人は、僕の過去をからりと變させて了つた。戀愛といふものは、パリスの作用だといふ人もある。僕もそのパリスにとりつかれたのです。」

「……」

「しかし、誤解なつては困ります。僕は此の感情をあなたに强ひようといふのではありません。僕は唯だ、あなたを愛してゐるといふ事實だけを、あなたに知つて貰ひたいのです。」

「はい」

幸子はかすかに答へた。

「僕のあなたに對する感情はそんなものは切りはなして、純然にあなた自身だけの問題としてです。但世さんが無理な事を仰有つたら斷然として拒絶なさい、といふのです。

それで當座の郷に困られなくなつたら、洩汗出すまでの事、それから後の事については、僕は出來るだけお力添をしてさしあげますとつて、別に報償を求めるわけも無い。洩汗出した上で、僕と結婚して下さいとまでは決して申上やしないのです」

「はい」

「恐らく、それは夫人だけの意志だと思ひます。先生には、あなたのいやな點と無理な點とを、はつきりさうう人ちやありません。先生は、そういふ人ちやありません。そして、先生は、僕があなたを愛していらつしやるやうですからね」

「際うでせうか？」

「かいさうな際だ！　先生はさう云つて謝罪を求いて居られました。先生は、恐度あなたの妹方になつて下さるでせう」

「際うでせうか？」

と、幸子は繰返した。

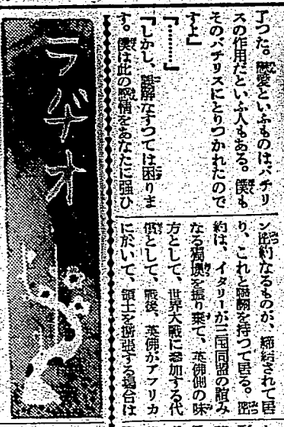
「だが、先生は、すつかり際さんに抑へられていらつしやる。際さんの前には、不思議に弱い先生なのです。どうして、ああなのかと僕なども、時々問題になるのです よ。際さんが來ると、先生は人が變つたといふ風に、あるまで際さんを立てなくても思はれる事が澤山あります」

敏介はかう云つて、謝罪を吐いたるる點について、イタリーに對しても、ようには決してないつもりですから。僕の今まで云つた事を、愛の言葉とお取りになつちや困るのです。矛盾、僕は調子に乘つて、少し餘計な事を喋り過ぎたやうだ。僕の云はうとするところは、あなた自身の意志に從つてなりやいけない。といふ事です。强くおなりにならなければいけない、といふ事です。戀愛にからまれて、心にも無い結婚などを下つちやいけない、とそれをあなたに云ひ度いのです」

「はい」

幸子はかすかに答へた。

「僕のあなたに對する感情はそんな



四ツに組んだ英佛

稻原勝治

四

ところが佛伊協定發表は、單なる政治的事項ではない。それに敵對的意味が附隨して居ることを、見逃がしてはならぬ。それは一九三五年英佛伊獨四國間に、ロンドン協約なるものが、締結されて居り、これと關聯を持つて居る。協約は、イタリーが三國同盟の義務なる獨逸を援助して、英佛側の味方として、戰後、英佛がアフリカに於いて、領土を擴張する場合は、イタリーも、これに參加せしむることを、規定して居るのである。然るに、英國は、從來イタリーに對しては、何等關心するところがなかつた。つまり獨逸の獨壇である。そこでイタリーとしては、英佛に向つて、この獨逸にモノを云はせやうとすることになり、それが現在に於いては、フランスに向つて、チュニス保護權の廢止とか、或はヂブチ港をイタリー領とせよとか、或はアデス・アベバ鐵道は、全部イタリーをして經營せしめよとか要求し、さらに英佛兩國に向つて、スエス運河に對する權利をイタリーに與へよとか要求すると云ふ形式に於いて、具體化されて居るのである。

このイタリーの要求が、獨逸强援であるのは、一月中旬首相チエムバーレンが、ワザ〳〵英國からローマに出張して、ムッソリニを訪問せんとして、物の見ごとに失敗したことが、雄弁に證明立てて居る。イタリーとしては、取るべきものは、大急ぎで取り込まなければならぬと考へて居る。四三年を限度として、英國の承認を得たいと云ふのである。その時になつたら、如何に損した約束手形と雖も、さらに英佛兩國に向つて、スエス運河に對する權利を主張しようと云ふのである。

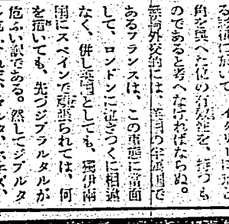
◇万事ルスピードたるべき現代特に英國一流の緩慢な交渉が十年百二十年一日の如く呼んだ位置に安住して居られやしない。當局に於いても此の點に對しては、相當に考慮をする。市民は勿論、外來の客でも不便を感じ且つ憤慨することも珍しい。急用とか不測とか臨時不行屆とか云ふ言葉は凡そ新聞廣告の爲めに作られたかと思はれたかつたが◇たま〳〵此の間、交換局務の實況を見せて呉れる機會を利用して電話交換と加入者の不滿を徹底する。

電話交換と加入者の不滿

新竹　山松生

◇万事ルスピードたるべき現代特に英國一流の緩慢な交渉が十年百二十年一日の如く呼んだ位置に安住して居られやしない。當局に於いても此の點に對しては、相當に考慮をする。市民は勿論、外來の客でも不便を感じ且つ憤慨することも珍しい。急用とか不測とか臨時不行屆とか云ふ言葉は凡そ新聞廣告の爲めに作られたかと思はれたかつたが◇たま〳〵此の間、交換局務の實況を見せて呉れる機會を利用して電話交換と加入者の不滿を徹底する。

ヤバパンモア　ムーレク用藥・許特賣專



ニキビを
放つて置くとどうか？
無理に取るとどうか？
ニキビを放つて置きますと、醜いばかりでなくだん〳〵と膨まつて來たり、毛穴が指腹がつてキメを荒します。またその關係に色素が沈殿し易くシミが出來る原因ともなりますからうつかつて無理に爪先で押したり、取らなければなりません。又、自分の面の一部の赤い腫物と誤解しますと、先ほどの穴跡を殘すことにもなり、シミをつけたりソバカスが出來ますからよく〳〵注意が必要です。これには特許藥のアモンバヤ療法をお勸めします。

ソバカス
放つて置くとどうか？
無理に取るとどうか？
ソバカスを放つて置いて治る筈がありません。だん〳〵年を經るにつれ、色々と刺激の度合はお顏の脂腺（俗人の場合はお顏の脂腺は特に强えたり濃くなつたりします）等で色黒を增ひ、益〻目立つ事になります。而も最近醫學上解決されてきますと治りが更くなりますから、ソバカスやシミは從來の無理をせずに、專用クレームのアモンバヤ療法で出來るだけ早く治す必要があります。

思案は御無用……案外
手輕に奇麗に治す法
專用クレームのアモンバヤはペインテ劑等とアルモンドを原料とした極めて良質の藥劑でありまして、刺激性のニキビと雖も、ソバカスと雖も、シミと雖も、毎夜一回宛お顏を洗つた後に手輕に塗るだけで、無理なく治すことが出來る非常に便利な藥劑であります。而も藥劑としても非常に强力な效果があります。從つて他の藥劑と併用しますと、その效果を減殺しますから他の藥劑は絶對に使用しないで下さい。

……お試しになりたい方は……
（一週間分）金五十錢
（二週間分）金七十錢
（一ヶ月分）金一圓二十錢
（三ヶ月分）金三圓
（六ヶ月分）金五圓
（一ヶ年分）金十圓
（送料共）
（郵券代用可）

姉妹藥品　用　パパヤ洗粉

東京市麹町區飯田町六丁目十二番地
本舗　株式會社　杉田商店

これぞ新日本の求めて止まぬ理想的美髪料！

漆黒の美髪は
御愛用各位の

御賞讃の如く他の擬造品と全然その質を異にするメヌマは、コレ一品の爲の專門工場で九種の純植物性の高貴精選原料を獨特の科學製法をもつて完成した名實共に美髪料界の權威的存在なのです。

この品質！この効果！

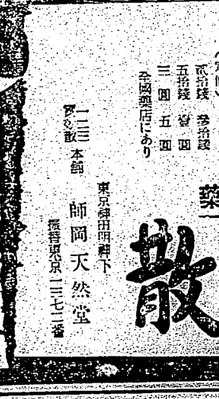
メヌマは、イヤに粘らず、キザに光らず、よく伸び、香ひの典雅さ、それに洗髪の容易さは、他品に求められない珠玉的品質であります。

又、特異な浸透性を有しますから、毎日の規則的御愛用は、頭皮と毛髪の乾燥を防ぎ、美髪に有害なフケ痒みをおさへ、よく毛髪に自然な光力と健康な色澤を育みます。

☆合理的使用法☆
メヌマの毛髪榮養は頭皮にスリ込んでこそ最も効果があるわけです。御使用の際は毛髪ブラシで頭皮に浸み込むやうによくスリ込んで下さい。
男性間に信用絶大な本品は今、新女性の美髪料としても斷然的人氣を頂いてゐます。

東京・大阪
本舗　井田京榮堂

四四セン
八五セン



感冒に
熱に
中毒を警戒せよ
無色無作用　他　胃腸障害
絶對安全！
寶効散は副作用がないばかりでなく、感冒に對して迅速な解熱作用を營み、症狀を輕快ならしめます。婦人や子供にも絶對に安心です！
感冒解熱特效藥
寶効散
中毒副作用、衰弱、衝等の危險のある强烈な科學藥に御注意あれ！風邪藥は副作用のない呑み易い寶効散と必ず御指命お求めあれ
（定價）
五拾錢　參拾錢
三圓　五圓
全國藥店にあり
東京神田明神下
一二三
寶効散本舗
師岡天然堂
振替東京　二七二番

春近し！
皮膚病を警戒せよ
ヒフ病には一二三が斷然効きます。
外用常備藥
二拾錢　三拾錢
五十錢　參圓
三圓　五圓
藥店にあり
NO—23

MP-108

これぞ新日本の求めて止まぬ理想的美髪料！

漆黒の美髪は
御愛用各位の

御賞讃の如く他の擬造品と全然その質を異にするメヌマは、コレ一品の爲の專門工場で九種の純植物性の高貴精選原料を獨特の科學製法をもつて完成した名實共に美髪料界の權威的存在なのです。

この品質！この効果！

メヌマは、イヤに粘らず、キザに光らず、よく伸び、香ひの典雅さ、それに洗髪の容易さは、他品に求められない珠玉的品質であります。

又、特異な浸透性を有しますから、毎日の規則的御愛用は、頭皮と毛髪の乾燥を防ぎ、美髪に有害なフケ痒みをおさへ、よく毛髪に自然な光力と健康な色澤を育みます。

☆合理的使用法☆
メヌマの毛髪榮養は頭皮にスリ込んでこそ最も効果があるわけです。御使用の際は毛髪ブラシで頭皮に浸み込むやうによくスリ込んで下さい。
男性間に信用絶大な本品は今、新女性の美髪料としても斷然的人氣を頂いてゐます。

東京・大阪
本舗　井田京榮堂

四四セン
八五セン

熱帶醫專の設置には 臺南が最好適地

本格的運動に近く乘出す

【臺南電話】臺南に於ける各種の公益團體の總合體たる臺南市協會は市民の輿望を擔ふ有力なる各團體より選ばれたる委員を以て組織し、市の百年大計たる熱帶醫學專門學校の臺南誘致に關し本格的運動を開始することとなり、十日午後一時より市役所樓上に第一回委員會を開催し、左記事項を協議決定した

一、臺南市民の熱帶醫學專門學校誘致に關する輿論を喚起すること

一、誘致運動の具體的方法に關すること

一、其の他必要なる事項

尚ほ委員會は必要に應じ隨時開催することゝなつてゐる

臺中の消防組員ら 御造營地に放水

一雨欲しい中部地方

【臺中電話】久しい間の日照續きに中部地方では田植の眞最中の事とて一雨千金の思ひで降雨を望んでゐる、臺中神社御造營地鎭の數木は樹齡數百年を經てゐるので容易に伐採することが出來ないが、昨年末に至り愈々伐採することゝなつたが、伐採の際樹木の倒れる方向が社殿に當つてゐるので、臺中市消防組では萬一の場合を慮つて、十日午後一時より社殿の西側に高さ二十尺の足場を組み、ポンプ數臺を以て消防組員を總動員して放水演習を行ふことゝなつた

李軍屬の庄葬

【臺中電話】臺中州大甲郡役所庶務主任李鍾華君の庄葬は、去る十五日午後二時から公學校講堂に於て執行されたが參列者は總代理、知事代理その他總出郡守、田上庄長外各庄長ら八百餘名に及ぶ盛儀であつた、當日は郡下の各官衙學校も參加せしむる事になつてゐる

壯丁團の檢閱

【員東電話】員東郡に於ては來る二十日里港公學校校庭に於て郡下聯合壯丁團檢閱實施をするが右檢閱終了後引續き實施する有事の際に於ける壯丁團の警備に關する演習を行ふ筈で、其他管內各街庄長、各部落長、各團體長多數參列の下に擧行された

嘉南大圳珊瑚潭

建設後初てのカヒボリ

池魚二萬圓におよぶ

【臺南電話】天下に聞ゆる官營大圳嘉南地方民が年來の宿望であつた烏山頭水庫のカヒ場が行はれた、建設以來本年で九年目、組合當局では一度は百丁にして種種調査すべく希望してゐたのが實現した訳で昨春からボツ〳〵干上にかゝつて今迄に無かつた形態を現はしてゐるので、之れを見んと連日數千の參觀者が押寄せ、中には遠く臺北、臺中方面からの參觀者もあつた、尚ほ干上つた貯水池の底には數十年來の泥土が堆積してゐるので、之れを取除く爲め目下數百の人夫を使用して作業中であるが、此の泥土は肥料として賣却する豫定である、尚ほ貯水池に泥土が堆積し建設當時に比べ此の貯水容量が二千萬石も減少してゐるといはれてゐるが、今から數十年かの後は此の貯水池も泥土の中に埋沒して了ふかも知れんが目下取入口その他で土砂の流入防止工事が行はれてゐるのでそんな心配は無い事であるといふ

地方民年來の待望 林邊溪の新埤橋

三月末には完成

【屏東電話】屏東郡下林邊庄の林邊溪に架する新埤橋は昨年十二月一日着工、總工費四十四万四千餘圓にて目下鋭意工事中であるが、本橋は屏東、台東兩廳を連絡する重要橋梁であるので、兩廳に於ても特に補助金を交付して工事を急がしめてゐるが、本年三月末には完成の豫定である、本橋は鐵筋コンクリート橋にして先に開通した下淡水溪橋に次いで南部兩廳に架かる長橋であるが完成の暁は東部交通に一大飛躍時代を現出して地方産業の發展に新生面を與へ、又絶大の期待が掛けられてゐる、尚ほ新埤橋の架橋に伴ひ從來の渡船場は廢止される

嘉南大圳珊瑚潭

建設後初てのカヒボリ

池魚二萬圓におよぶ

（前段と同記事）

臺中振興會を組織

市の繁榮を圖る

補助金も市から交付

【臺中電話】臺中市では官僚系と非官僚系とに關係なく市の發展を期するため市役所と別個に臺中市振興會なるものを組織する事に決定し市では十四年度豫算に補助金として二万三千円を計上してゐるが同會は財團法人組織とし事業の各方面に亙りては一般會員の參加を求め主要機關であると

臺中神社新年祭

【臺中電話】臺中に於ける新年祭は十七日午前九時より臺中神社に於いて松岡知事、藤原總監、土屋

續出する質問に

議場活況を呈す

高雄市會　傍聽席は滿員

【高雄電話】高雄市會第二日は前日に引續き十七日午前十時二十分より市公會堂に於て開催、直ちに本會議に入り、池所氏の質問に對し次の諸件に關し、時局關係重要につきては委員の結果二十五万円の計上方を可決、十時二十六分閉會した

尚ほ當日は傍聽席は滿員の盛況を呈し、殊に婦人團體の參加多數にて傍聽席は午前中から滿員の盛況であつた、尚ほ當日は

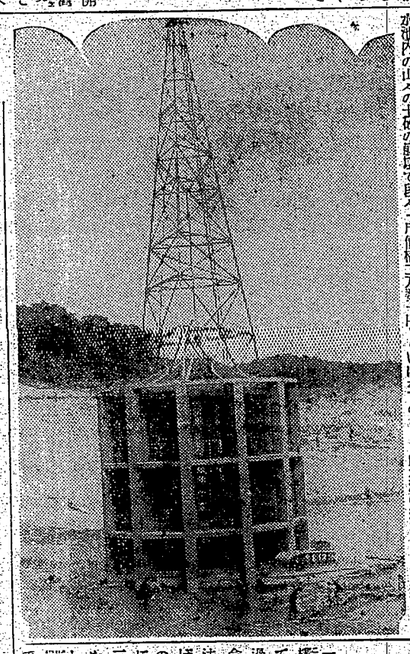
非國民的な皮革商 買占を行て暴露

近く鐵槌がくだる

【臺南電話】戰時下に於ける國家の統制經濟に對し、之れを無視して暴利を貪らんとする惡德皮革商人に對し、臺南州警察部では嚴重取調べの結果、遂に其の惡事を暴露するに至つたが、其の手口は實に巧妙を極めてゐるので、之れが檢擧には相當困難が豫想されてゐたが、愈々十七日午前十時を期し、臺南市內の惡德皮革商人十數名に對し一齊檢擧の手を伸べる筈で、之れが檢擧に關しては臺南州警察部長、高原警務課長の指揮の下に臺南署長、同署警部、警部補、巡査部長、巡査等總動員の上、臺南市內の皮革商人の店舗、倉庫、住宅等を一齊に捜索し、關係書類、帳簿、物件等を押收して取調べを行ふ筈であるが、之れが檢擧に關しては嚴重なる箝口令が布かれてゐるので、其の眞相は容易に發表されないが、其の內容は左の如きものである

一、臺南市內の皮革商人は軍需品たる皮革の買占を行ひ、之れを暴利を貪つて賣却してゐる

二、其の筋に於ては內地人より本島人の方が四百九十名多いが、其の數は遙かに三十九万餘圓少いと云ふ事實の差を示し、從かに一割八分强に相當するのみで甚だ遺憾とされてゐる



（發覺は鐵槌初めて世に出た貯水池の排水口の圖）

多大の注目を引く

議構內の汽車顚覆事件公判

【台南電話】既報昨年四月台南縣楠西庄に起つた汽車顚覆事件を續つて當時の機關手添田敬一を業務上過失汽車顚覆罪として起訴、公判に附されてゐるが、愈々昨年十二月十九日午前九時より台南地方法院に於て公判に附せられる筈で、檢事より懲役十年を求刑、辯護人より無罪の辯論があり、次の如き判決を言渡した

主文　被告を懲役二年に處す

事實　被告は昭和十四年度上期に於て鐵工場の設置に關連して將來の大合同市街の發展を期するため市役所と別個に臺中市振興會なるものを組織する事に決定し、各方面に亙りては一般會員の參加を求め主要機關であるとの事

臺中振興會を組織

市の繁榮を圖る

補助金も市から交付

（前段と同記事）

跳ねらる

【臺南電話】安通派出所——臺南市安通派出所は、去る十六日午後一時頃、同所巡査部長が管內巡視中、同所より約二里餘の地點に於て

坐商・行商の發生過程を闡明せる

日本古代經濟

西村眞次氏の近業

池田敏雄

流石の定評ある學者丈けあつて十分に闡明されてゐない。行商についても若干の史實を述べて行商の發生と展開との關係過程を明らかにしたに過ぎず、その發生と展開との關係過程を闡明した業績は寥々たるものがあらう。在來の經濟史に缺けてゐるかうした点を、豐富な資料によつて考察說明した本書こそは、まことに時宜的な好著であるといふべきであらう。（四六倍半裁二六〇頁、二・五〇圓、京都冨山房發賣所、東京寄發）

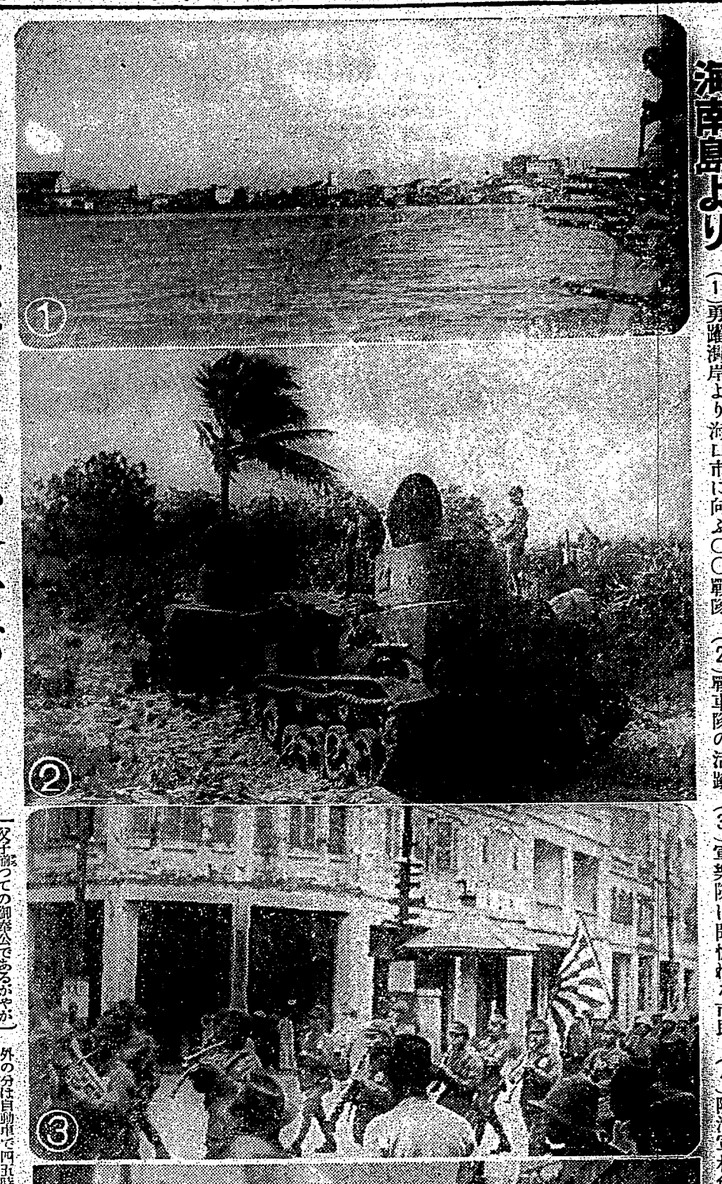
日本古書通信

明治文學特輯號

月一回發行して古書關係界の權威とされてゐる「日本古書通信」の第二二號は「明治文學特輯號」である。即ち大正の生出氏の明治文獻物語、岡野他家氏の珍籍錄「三籟」と「やまと新聞」の話、石川巖氏の「明治文學資料落穗拾遺」その他を掲載してゐる。就中石川氏のものなどは、古本漁りを心がける程の人には必讀の記事であらう。また明治文學ではないが、芥川龍之介の例の「われ／＼あの頃、「羅山のしるした切支丹の俤」「隅田川」「澁江抽齋」「伊澤蘭軒」「北越雪譜」「北越雪譜」「北越雪譜

海南島より

（1）勇躍海岸より海口市に向ふ○○戰隊　（2）戰車隊の活躍　（3）軍樂隊に開愉れる市民　（4）陸海軍相會して萬歲　（5）海口入城の我陸海軍部隊を出迎へる良民達　陸軍省、海軍省許可濟



"島の主"勝間田父子が宣撫に決死の先陣

佈告を貼付し皇軍の眞意を說く

【海口にて滿中本社特派電發】勝間田父子が山の街は住民の大半が我が軍入城前に逃亡してしまつたが、海口は殆ど全部が殘つてゐて我が軍入城と同時に日章旗を掲げてこれを迎へ正に支那軍驅逐まつて以來稀に見る平和な姿であつた、昨日に引き代へ今日の淋しい景色に家の兩側に立つてうつめるのである、市街は戰爭を知らぬ街である、皇軍は海南島を占領するの卓そのものが目的ではない

島民をしてそのたつきに安んじ東洋平和への眞の道を知らしめるのがまた大きな目的である、だからこそ今度の戰鬪には特別に宣撫班を組織して第一線と進行、瓊山、海口兩市へ入城せしめたのである、一班はかつて海南島で大隊長をつとめてゐた某、他の一班はこの地にあつて嘱望の一人として知られ四十年の辛苦を重ね事變と共に引き揚げた勝間田清作翁の三男でその後○○部にあつた篤人氏が特異な存在として選ばれ

早くも　島、海南軍司令官の名において佈告を貼付、皇軍の眞意を說いてまはつたのである、我行く處では皆部落の後より各地にわたつて二十万餘のビラを撒布したが、これ等の效果は非常に大きく住民はすつかり安心しきつてしまつたのである、海口では門戶を閉ざした店は少く、市場も朗かれ憲兵隊や通り魔隊員も常の如く出動し、理髮店では兵隊さんが髮を刈つてゐる風景さへ見られ、瓊山にもこの海口の平和な姿は傳はつたので住民は二日中に續々と歸り來るだらう、いや瓊山だけではなく全島各地に日本軍による眞の平和が如何なるものかが感得される筈だ、西南に逃亡した殘敵も我れには驚異的の手段があるのみ、海南島はもう平和なものだ、樂土海南島の出現は近い、戰鬪そのものもさる事ながらかうした方面に於ても世界有數の大成功とさへいはねばならないのである、なほ勝間田父子は父子作戰で海南に從つてゐる

宣撫工作に重要な活動

博愛會衛生班の

廣東から歸つた下條博士談

【東京十七日發同盟】防共親善ベルリン東京を結ぶ空の親善使節ヨンドルフ機の飛來たる勇姿が去る紀元二千六百年に有名なドイツのルフトハンザー航空會社が二月中に日本訪問の親善飛行を決行することになり十七日オット駐日大使を通じて領土滯在他の援助を依頼して來た、外務省では直ちに警視廳に此旨を通報して万全の措置を講ずるとともに關係の相次ぐ歡迎御饗應を催すことになつた、今回の飛行に使用される飛行機は最新鋭二基發動機のユンカース五十二型機で低翼單葉、全長十八米三、全幅二十九米五、全高六米三、全備重量九千餘瓩、最大速力二百二十二粁時、上席操縱士一名、副操縱士一名、通信士一名、機關士一名、客室に五十二百米、航續力九千粁、十四人乘の優秀機である、また搭乘者はヨハネス・ブラネルト、ワルター・プリン兩操縱士、ハインリッヒ・ヒーツトーが最もすぐれた人物であるといふ事が傳へられてゐる、なほ同機は空中無線方位測四名定ベルリン・テンペルホーフ飛行場をスタートし南方コースをとり東京へ飛來する豫定である

ドイツから今度はユンカース旅客機

今月中に親善のため飛來

臺灣鏘の販賣に

業者が統制組合を結成

臺灣鏘は本島茶業に於て缺く可からざる副產物であつて年々之に消費される鐵鍋は約二千萬に及んでゐるが今回故鋼及鉄鍋配給統制規則の施行に伴ひ鉄鍋使用の節約とそれが遣業者を打つて一丸とする統制機關「臺灣鍋販賣統制組合」を組織した臺灣鍋の販賣に關する一切の事務を取扱ふ事となり、七日午前十時より其の第一回打合會を臺北市御成町の臺灣鍋販賣統制會社に於て行はれた、出席者は臺南の東洋工業株式會社代表王超英氏外臺內の主なる鍋製造業者及び販賣鍋鉄統制會社の配給統制會社代表で打合せの結果本組合を通じ臺灣鍋の製造及び販賣を統制し原料の節減の

折紙を附けられた

廿二種の優良代用品

當局が補助金を支給

【東京十七日發本社特電】長期建設の國策に順應して正に代用品充實化を現出その研究に餘念なきまでに至つたが、これ等の代用品の中でも最も多いのは紙代用品で殊にスフになり紙になるパルプの研究に關しパルプ原料として地方地方の名も知れぬ雜草雜木を用ひ最適なパルプを造つてゐるもの等の製造に關しては數、用途、製造法等に關し細かい注意を拂ひ折紙を附けられたものは二十二種に及んでゐるが、主なるものは次の如くである

コルク代用品の製造に關しては數年前から研究を續けてゐた臺灣ランドセル代用品、帽子、靴底、七島藺製品、花莚、花莚に依る床敷、背嚢製品、花莚に依る寢具用品の製造、背嚢製品の製造に關しては數年前から研究を續けてゐた臺灣ランドセル代用品、帽子、靴底、七島藺製品、花莚、花莚に依る床敷、背嚢製品、花莚に依る寢具用品の製造、背嚢製品の製造に關しては數年前から研究を續けてゐた

獨、伊兩國の

新聞使節團が來朝

【東京十七日發同盟】昨年日本から獨伊兩國に派遣された新聞使節團に對する答禮として獨、伊兩國から「日民民使節」として大新聞使節團が相次で來朝する、獨逸側は十九日午前七時半、全員六名に二等機で羽田着、直ちに帝國ホテルに入り、午後二時から外務省で歡迎會を開き、午後六時から帝國ホテルで歡迎晩餐會を開く豫定である、一行は二十日午後一時半から東京會館で開かれる日獨協會主催の歡迎會に出席、二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月三十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、七月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、八月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、九月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十一月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、十二月三十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、一月三十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、二月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、三月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、四月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月二十九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、五月三十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月一日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月二日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月三日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月四日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月五日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月六日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月七日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月八日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月九日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十日午後一時半から日獨文化協會主催の歡迎會に出席、六月十一日午後一

『國民體操』の創案

體位向上に適應の三種

—五月中に作成の豫定—

陸軍省體力局では昨年來國民體力制定の計畫をたて右に要する經費三万円を朝非度議會に計上したが陸軍省の意向では多數決を以て何にも適するものと認めるものを男女國民に向けて二種類とそんとするもので、過般の衆議院豫算分科會で山本悌二氏（民政）が現行の學校體操に關聯のある點を指摘してゐるので、陸軍省としても十分考慮し名實ともに新時代に適應したものを創案しやうと意氣込んでゐる。

之には體育界の指導者、軍訓係官などを網羅してスポーツ醫學者、軍訓係官などを網羅して綜合的研究を遂げ、目標下のものを實際的に實施して五月中に作成することになつてゐるが

一般的體操には體位向上を目指すると同時に體力の增進を期し一般から募集して制定し、青年男女用體操には別に行進曲を附ける計畫で一般青年及には各銀行、會社各町村などの各部にわたつて協力を行ふほかラヂオ、訓練、パンプレットなどあらゆる方法を

講じて徹底を期し夏期に入つてからは五月一日より二十日間行はれる國民體錬週間に對して本格的に行ひ秋季の第十回明治神宮體育大會には中央、地方ならびに學校、青年團、在鄉軍人分會等一齊に行ひ各團體參加を目指して目下鋭意研究中である

▲參加人員　約四百萬人（二月二十九日現在）

▲參加申込期日　二月二十九日迄（必着）

▲參加申込先　本社內靑川支援兒

▲競技方法　A、Bの二組に分ち（A組は強き團體散步競爭）

▲試合回數　七回目標（状態により減ずることあり）

▲使用球　學校用ゴム球

▲參加選手制限　選手數は一團十六名以內（補缺二名）監督一名、將一名計十八名、年齡は自由、學生の參加を認めず、現役選手（昭和十三年二月一日以降陸軍選手たりしものを除く）は參加不能

▲審判組織　二百二十日（水）午後四時半本社講堂にて

海光山引退

籠內力士十州山が四月限り引退の意を明かにしたが、同時ともに海光山こと熊島榮吉（身長六尺三寸、五貫）も四月限り引退、枝川を名乘り土俵に立つ筈二所ケ關部屋の弟子筋を殖やす爲め四月中に二所ケ關部屋に入り昭和七年二所ケ關部屋に入門、前頭筋頃まで進んだことのある

廿三年振りに五十嗚の新記錄

【フィラデルフィヤ電聯】ペンシルバニヤ州立大學陸上競技部の新鋭黒人スプリンター・ウッドニウエル選手は十日當地で行はれたペンシルバニヤ州室內陸上カーニバル大會の五十嗚に五秒一の世界新記錄を出して優勝、一九二六年J・G・ルーミス選手の作つた五秒二を廿三年振りに更新した

余暇を惜しむ休位向上の者

テニス

ここは大正街公園のテニスコート……秋晴の絶好の行樂日和とて朝から詰掛けた會社員たちがのゆつくりした午前中、比較的朝の出勤時間が、晝日五六人から多い時は大人位も朝の八時頃から九時過ぎまで、約二時間の間ラケットを振り廻してゐる、或は朝飯後の腹ごなし、又は夕食前の運動らしく、お揃ひの服裝で組を作つて來るなど、中には朝も晩にも欠かさず出掛けるといふ熱心家もあり、中には會社の仕事よりもテニスの方に興味を持つてゐるのではないかと思はれるものもある。

▲是民化のタ　臺北州海山郡二峽庄に於ては去る十二日の紀元の佳節をトし本期初の是民運動として是民化の夕を開催した、當日の參觀者は總て四千人を算し父子連れ夫婦の山で會場は立錐の地さへなき狀態で本島之民を全部とした感山村として嫉妬的盛會に均しい現狀にあるので庄內民團長、渡邊郡守庄長等協議の上、明朗運動、是民運動の爲に、スピードで審議、第一議案より第六議案迄を一括上程して原案通り可決、僅か一時間半にて會議を終了した、因みに本年度農業經營額は一千二百四十萬圓、前年度より約一割の增加を示し、又農家戸數は一萬二千戸、人口は六萬五千人、一戸當り平均耕地は一町歩、一人當り平均耕地は一反歩の割合である

▲新竹州關西庄協議會　員林郡埔鹽庄協議會　員林郡埔鹽庄協議會　員林郡埔鹽